

67 J 2026年度 地理

問題冊子 (1～13 ページ)

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし、解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験系統コード、受験番号、氏名(カタカナ)を確認し、氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし、印刷に間違いがあった場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。

[解答用紙記入例(選択式の場合)]

例 1. [語群]が二桁で (1) 大阪 (2) 佐賀 (3) 長崎 (4) 東京 とある場合

	A		B		C	
問 X	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

Aの解答が佐賀の場合 → (17)
 Bの解答が東京の場合 → (19)
 Cの解答が大阪の場合 → (21)

例 2. [語群]が一桁で (1) 大学 (2) 中学校 (3) 高校 (4) 小学校 とある場合

	a	b	c
問 X	51	52	53
	/	4	2

aの解答が大学の場合 → (51)
 bの解答が小学校の場合 → (52)
 cの解答が中学校の場合 → (53)

〔一〕 次の文章(1)～(5)を読み、〔問 1〕～〔問 12〕に答えなさい。

- (1) 水上交通は低速ではあるものの、容量の大きい物資を大量に安く輸送できるため、今日でも世界の貨物輸送の多くを担っている。国際河川や運河を用いた内陸水路交通や海上交通の発達により、貿易は世界的に拡大している。香港やシンガポールに代表されるハブ港湾には、世界各地からコンテナ貨物が集積し、積みかえられ、さらに水路や陸路を通じて別の目的地へと輸送されている。
- (2) 陸上交通のうち、鉄道交通は、大量の旅客や貨物を長距離にわたって輸送できるという利点がある。鉄道交通は産業革命以降、欧米諸国で発達し、経済発展の基盤となってきたが、20 世紀半ばから進んだ A によって役割が低下したと言われる。しかしながら、現在でも、都市間を結ぶ高速鉄道や貨物輸送において一定の役割を占めている。
- (3) 自動車交通は、輸送の弾力性、個別性などに優れており、現在、世界各地で A が進み、陸上交通の主役となっている。しかし、他の交通手段に比べて温室効果ガスの排出割合が高いため、近年では、環境への影響を小さくするために、乗用車やトラックから鉄道や船舶へ輸送手段を転換する B が進められている。また、ガソリン車から電気自動車への転換や、鉄道を用いた新しい都市交通システムである C の導入など、環境負荷を減らす交通機関の開発も進められている。
- (4) 航空交通は、2 地点間を最短距離で結ぶ D 航路を高速で飛行できるため、長距離移動の主役となっている。一方、航空機の大型化により、航空貨物の輸送量も増加している。最近の航空交通では、地域内の航空交通の拠点となるハブ空港の重要性が高まっており、その座をめぐる各国での競争も激しい。

- (5) さまざまな交通の発達は、国や地域の産業を発展させ、国家間や地域間の結び付きを強めてきた。⁽ⁱ⁾しかし、こうした結び付きによって成長する地域がある一方で、衰退する地域もあらわれている。^(j)交通網から取り残された地域では、交通の発達^(j)の恩恵を受けることができず、地域間の格差の拡大^(k)が問題になっている。

〔問 1〕 文章中の A ～ D に最も適切な字句を〔解答 B 欄〕に正確に記しなさい(同一記号の箇所は同一解答)。ただし C はアルファベットの略称で記すこと。

〔問 2〕 文章中の下線部(a)に関して述べた次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) コンテナは大きさが国際標準化されているため、港湾での合理的な荷役作業を可能にしている。
- (2) 経済成長が著しいアジアを中心にコンテナの取り扱い量は増加している。
- (3) 梱包されていない穀物や鉱石などを輸送するための専用船をバルクキャリア(ばら積み船)と呼ぶ。
- (4) 世界の商船の船腹量(2023 年)を船種別でみると、コンテナ船が最も多く、次いでオイルタンカー、バルクキャリアとなっている。

〔問 3〕 文章中の下線部(b)に関して、ドナウ川の流域国に該当しない国を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ルーマニア
- (2) オーストリア
- (3) フランス
- (4) ドイツ

〔問 4〕 文章中の下線部(c)に関して、紅海と地中海とを結ぶ運河を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) パナマ運河
- (2) スエズ運河
- (3) ミッテルラント運河
- (4) ミディ運河

〔問 5〕 文章中の下線部(d)に関して、フランス国鉄が運行する高速鉄道を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) TGV (2) HST (3) ICE (4) AVE

〔問 6〕 文章中の下線部(e)に関して、以下の 4 つの国のなかで、鉄道による貨物輸送量が最も少ない国(2015 年)を選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) アメリカ合衆国 (2) ドイツ
(3) 中 国 (4) ロシア

〔問 7〕 文章中の下線部(f)に関して述べた次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 石油資源の制約や地球環境への配慮から、従来のガソリン車の販売を将来的に禁止することを多くの国や地域が決定・検討している。
(2) 電気自動車の部品点数はガソリン車に比べて多いため、自動車メーカー以外の企業の参入がしやすくなっている。
(3) 世界の電気自動車保有台数(2019 年)が最も多いのは中国である。
(4) 電気自動車の普及のためには充電インフラの拡充などが必要である。

〔問 8〕 文章中の下線部(g)に関して述べた次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 航空交通は高速での移動や輸送に適しているが、一般に輸送量が小さく、運賃が高い。
(2) 近年では無駄なコストを省いて低運賃を実現した LCC と呼ばれる航空会社が注目されている。
(3) 日本の航空貨物で輸出額が最も多い品目(2023 年)は医薬品である。
(4) 成田国際空港の輸入額(2022 年)は全貿易港で日本一である。

〔問 9〕 文章中の下線部(h)に関して、ドイツにあるハブ空港を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) フランクフルト空港
- (2) ザルツブルク空港
- (3) クラーゲンフルト空港
- (4) リスト・フェレンツ空港

〔問10〕 文章中の下線部(i)に関して述べた次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 日本を訪れる外国人は 2010 年代に激増している。
- (2) 2020 年以降の新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、世界各地での人々の移動の規制をもたらした。
- (3) 観光地の収容能力をこえる観光客の増大がもたらす悪影響のことをオーバーツーリズムと呼ぶ。
- (4) 一般的に発展途上国ではまずアウトバウンド観光が発達し、経済的に豊かになったのちにインバウンド観光が発達する。

〔問11〕 文章中の下線部(j)に最も関係する現象を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ストロー効果
- (2) スプロール現象
- (3) ドーナツ化現象
- (4) ジェントリフィケーション

〔問12〕 文章中の下線部(k)に関して述べた次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 日本では人口の約 4 分の 1 が東京・名古屋・京阪神の三大都市圏に集中している。
- (2) 日本の農山村地域では高齢化と過疎化が加速している。
- (3) 大都市圏などの出身者が出身地以外の地域に移り住む I ターンなど、地方圏への移住を促進する取り組みも注目されている。
- (4) 日本の市町村数は減少を続け、2000 年ごろ約 3,200 あったのが、2024 年には約 1,700 と、ほぼ半減している。

〔二〕 次の文章(1)～(3)を読み、〔問 1〕～〔問 10〕に答えなさい。

- (1) 都市は、行政・文化・生産・消費・交通・流通など様々な都市機能を有する。市街地の拡大によって、隣接する複数の都市が連結した状態を A (a) (連接都市) といい、日本の首都圏はその代表例である。さらに、道路網からみた世界の都市の形態には、直交路型、放射直交路型、放射環状路型、B (b) 型がある。B (c) 型の都市には、外敵の侵入を防ぐ目的で多くの袋小路が設けられており、西アジアや北アフリカなどの古い都市にみられる。
- (2) 第二次世界大戦後、イギリスでは、大ロンドン計画に基づいてロンドン市街地の周辺にグリーンベルトを設け、その外側に職場と住宅の機能を有する C (d) の建設が行われた。欧米の諸都市では、1970 年代以降、都心周辺から郊外への人口流出に伴って、高齢化や低所得者層の増加、コミュニティ崩壊といった D 問題が生じ、再開発が試みられている。再開発の型には、都心近くの水際地域にオフィス街やレジャー施設などを建設する E (e) 開発や、修復・保全型などがあるが、後者は根本的な防災対策工事が難しいといった課題もある。(f)
- (3) 近年の都市政策では、都市の持続可能性を高めることが重視されており、日本の富山市では、新しい公共交通を軸に中心市街地の再生を図るコンパクトシティの取り組みが推進されている。(g) (h) それに対して、アメリカ合衆国の大都市郊外では、自動車利用を前提として高速道路のインターチェンジ周辺に、新しい商業・オフィス地区であるエッジシティが形成されている。(i)

〔問 1〕 文章中の A ～ E に最も適切な字句を〔解答 B 欄〕に正確に記しなさい(同一記号の箇所は同一解答)。ただし B は漢字で、それ以外はカタカナで記すこと。

〔問 2〕 文章中の下線部(a)に関して、政治都市として最も適当なものを下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- | | |
|-------------|------------|
| (1) ブラジリア | (2) エルサレム |
| (3) ハイデルベルク | (4) ジブラルタル |
| (5) ボストン | (6) バーミンガム |

〔問 3〕 文章中の下線部(b)に関して、次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 首都圏では、東京を中心に神奈川県、埼玉県、千葉県的各都市の市街地が連続している。
- (2) 首都圏では、1960 年代から 1980 年代にかけて都市が郊外に拡大し、都心部の空洞化が進行した。
- (3) 首都圏では 1980 年代後半には、情報化や金融国際化が進み、東京一極集中が生じた。
- (4) 首都圏の郊外では、1990 年代後半以降、都市のスポンジ化が生じている。
- (5) 首都圏は少子化が進んでおり、東京都でも 2023～2024 年の人口増加率(%)がマイナスとなり、人口が減少に転じた。

〔問 4〕 文章中の下線部(c)に該当する都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- | | |
|----------------|----------|
| (1) モスクワ | (2) テヘラン |
| (3) 北 京 | (4) チュニス |
| (5) ワシントン D.C. | (6) パ リ |

〔問 5〕 文章中の下線部(d)の目的や特徴として適当ではないものを下から選び、

〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 都市における過密の緩和
- (2) スプロール現象の抑制
- (3) 第二次世界大戦後の復興
- (4) 郊外住宅地と都心部との連続的な市街地形成

〔問 6〕 文章中の下線部(e)に関して、該当する最も適当な事例を下から選び、

〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ドックランズ(ロンドン)
- (2) マレ地区(パリ)
- (3) さいたま新都心(埼玉県)
- (4) ハーフエンシティ(ハンブルク)
- (5) サウスバンク(メルボルン)
- (6) 大阪ビジネスパーク(大阪府)

〔問 7〕 文章中の下線部(f)に関連して、次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 洪水リスクのある地域では、浸水想定区域や避難場所などを示したハザードマップが作成されている。
- (2) 都市部で生じる内水氾濫は、堤防の強化によって防ぐことができる。
- (3) 1995 年の阪神・淡路大震災では、発災時の公助の限界が明らかになった。
- (4) 防災訓練や避難誘導、避難所運営などを自治会や自主防災組織を中心に地域住民同士で行うことは、自助・共助・公助のうち共助にあたる。
- (5) 田畑の減少によって大雨時の一時的な貯水機能が低下し、そのことが水害の大規模化の一因となっている。
- (6) 防災・減災にあたっては、近年、帰宅困難者対応なども重視されるようになってきている。

〔問 8〕 文章中の下線部(g)に関連して、都市部において環境負荷を小さくすることに寄与するものとして、適当ではないものを下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 都心と郊外との間での職住分離の促進
- (2) ロードプライシング制度の採用
- (3) 自転車共有サービスの展開
- (4) スマートグリッドの開発・利用
- (5) パークアンドライドの採用

〔問 9〕 文章中の下線部(h)に該当する都市を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- | | |
|--------------|----------------|
| (1) リオデジャネイロ | (2) ロンドン |
| (3) ポートランド | (4) ジャカルタ |
| (5) ラゴス | (6) ムンバイ(ボンベイ) |

〔問10〕 文章中の下線部(i)に関連して、自動車産業や流通などに関する次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 日本では、自動車産業の下請工場は工業地帯に集積していたが、近年は九州北部や東北地方などに拠点を分散させる動きが見られ、工程間での分業も進められている。
- (2) インドで生産された自動車は、インド国内で販売されるだけでなく、メキシコやアフリカ諸国にも輸出されている。
- (3) 日本は、世界における自動車の生産台数(2023 年)の 9.6 % を占めており、中国、アメリカ合衆国、インドに次いで多い。
- (4) 内燃機関が不要である EV(電気自動車)は、部品点数が少なく、EV の普及によって自動車メーカーを頂点とするピラミッド型の産業構造を転換させる可能性が高い。
- (5) EV の保有台数(2021 年)が世界で最も多い国は、中国である。

〔三〕 次の文章(1)～(4)を読み,〔問 1〕～〔問 10〕に答えなさい。

- (1) 西アジアと中央アジアには砂漠やステップが広がっている。ティグリス川やユーフラテス川の流域は、農業や牧畜が発達してきた地域であり、エーゲ海や地中海沿岸とともに古代文明を育んできた。また、ユダヤ教やキリスト教、イスラームといった一神教の発祥地でもある。西アジアの地形をみると、アラビア半島をのせたアラビアプレートが、その北に位置する A プレートに衝突して衝突帯を形成し、高原や険しい山脈をつくり地震を多発させている。一方、中央アジアの大部分は安定地域に属している。
- (2) 西アジアと中央アジアの砂漠に点在するオアシスでは、河川や山麓から地下水路によって水を導く B を利用して、野菜や果物を栽培するオアシス農業が行われてきた。また、こうした水が得られる場所に人々が集まり、交易路に沿ってオアシス都市が形成された。近代以降、西アジアでは、大規模なダム(c)の建設や海水を真水に変える淡水化施設の導入によって、農耕地の拡大や緑化、工業化が進められている。とりわけペルシア湾岸の産油国ではオイルマネーを投入して、農業に適さない砂漠において C 方式による灌漑農業が行われている。中央アジアでは、ソ連時代に乾燥地域を大規模に農地化する自然改造計画が実施された。(d)
- (3) アフリカ大陸は、地質年代的に非常に古く、その大部分が安定地域である。大陸の東部から南部にかけて全長 7,000 km におよぶ大地溝帯がはしっており、その裂け目に水がたまって断層湖が形成された。気候をみると、北アフリカの地中海沿岸は地中海性気候であるが、D 山脈を境としてその南側には、世界最大の砂漠であるサハラ砂漠が広がっている。サハラ以南アフリカには、赤道付近に熱帯林が広がり、そこから離れるにつれてサバナが、さらに南北の回帰線付近には砂漠が分布している。(f)

- (4) 北アフリカは西アジアと並ぶ産油地帯であり、OPEC に加盟している国^(g)もある。産出された原油や天然ガスは、主に欧米諸国に輸出されている。とくに天然ガスは、モロッコからスペイン間、チュニジアから 間を結ぶパイプラインによって輸出されている。一方、サハラ以南アフリカでは、鉱産資源^(h)や商品作物など、特定の一次産品に依存したモノカルチャー経済の国が多くみられる。こうした経済構造は、国際市場での価格変動の影響を受けやすく、また資源の枯渇といったリスクもあるため、安定した経済成長の実現が困難である。さらに、サハラ以南アフリカには内陸国が多く、外部との交通や貿易が制限されやすいことも経済発展をさまたげる要因となっている。そのため、交通⁽ⁱ⁾インフラの整備が経済発展の重要な課題とされている。

〔問 1〕 文章中の ～ に最も適切な字句を〔解答 B 欄〕にカタカナで正確に記しなさい。

〔問 2〕 文章中の下線部(a)について、次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 古くからイスラームの文化が浸透してきた地域であり、現在でも人口のほとんどをムスリムが占めている。
- (2) 農業発祥の地であり、主食であるソルガムなどの穀物や豆類などが灌漑農業によって生産されてきた。
- (3) 西アジアは砂漠気候が中心で多くの国が海に面しているが、中央アジアのすべての国は内陸国である。
- (4) 原油や天然ガスなどの資源に恵まれた地域であり、とくに西アジアには世界有数の産油国が集中している。

〔問 3〕 文章中の下線部(b)について、次の文のうち、適当ではないものを選び、
〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 7 世紀に、預言者ムハンマドによって創始された唯一神を信仰する宗教である。
- (2) 宗教的に正しいとされる方法で調理された食品を食べることが義務付けられている。
- (3) 信仰告白、礼拝、断食、喜捨、修行を信者が行うべき正しい行為(五行)としている。
- (4) ユダヤ教やキリスト教の信者を「啓典の民」として認めている。

〔問 4〕 文章中の下線部(c)について、次の文のうち、適当ではないものを選び、
〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 中国とヨーロッパを結ぶシルクロードなどの東西交易路の要衝であった。
- (2) イスラームが繁栄した中世には、ダマスカスなどが栄えた。
- (3) 中世における最先端の科学や哲学、医学などが集積する場所であった。
- (4) 湾などの海岸部に位置し、海上交易の拠点となった。

〔問 5〕 文章中の下線部(d)について、次の文のうち、適当ではないものを選び、
〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) アムダリア川の流量が激減しアラル海が縮小した。
- (2) トルクメニスタン南部の砂漠地帯に水を引くためにカラクーム運河が建設された。
- (3) ダムの完成により発電能力が増加するとともに、上流に人造湖ナセル湖が出現した。
- (4) 灌漑によって生まれた広大な農地は、カザフスタンでは小麦、ウズベキスタンでは綿花の栽培などに利用された。

〔問 6〕 文章中の下線部(e)ではない湖を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ビクトリア湖
- (2) タンガニーカ湖
- (3) アルバート湖
- (4) マラウイ湖

〔問 7〕 文章中の下線部(f)に関して、ナミブ砂漠の形成要因の組み合わせとして
適当なものを下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) 亜熱帯低圧帯／寒流
- (2) 亜熱帯高圧帯／寒流
- (3) 亜熱帯高圧帯／暖流
- (4) 亜熱帯低圧帯／暖流

〔問 8〕 文章中の下線部(g)について、2024 年時点で OPEC 加盟国ではないアフリカの国を下から選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) モロッコ
- (2) リビア
- (3) コンゴ共和国
- (4) ナイジェリア

〔問 9〕 文章中の下線部(h)について、次の文のうち、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ボツワナの輸出総額の約 8 割はダイヤモンドである(2023 年)。
- (2) ギニア湾岸の国々ではカカオ豆の栽培が盛んで、世界の生産量の 6 割以上を占める(2022 年)。
- (3) アンゴラの輸出総額の約 8 割は原油である(2022 年)。
- (4) コーヒーはケニアが原産地であり、今日もこの国の輸出総額のうち最大を占める(2023 年)。

〔問10〕 文章中の下線部(i)に関して、次の文のうち、アフリカ諸国の交通インフラ戦略の記述として、適当ではないものを選び、〔解答 A 欄〕に番号で答えなさい。

- (1) ナイジェリアのラゴスからセネガルのダカールまで、ギニア湾岸沿いにのびる幹線道路の整備が続けられている。
- (2) 南アフリカ共和国のダーバンでは、港やコンテナヤードなどの港湾設備の強化によって海上輸送が整備された。
- (3) タンザニアとザンビアを結ぶタンザン鉄道が、ザンビア産の鉄鉱石の輸出を目的として、中国の援助により完成した。
- (4) アルジェリアでは、首都から内陸に向かう高速道路や都市間の高速鉄道、渋滞解消のための地下鉄やトラムの整備が続けられている。